

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 温暖化対策課
担当名: 計画制度・排出量取引担当
内線: 3043 (単位: 千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
P3	温暖化対策計画・排出量取引制度推進事業費				一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	事業活動地球温暖化対策費	
事業期間	平成22年度～	根拠法令	埼玉県地球温暖化対策推進条例 埼玉県地球温暖化対策に係る事業活動対策指針				針路 分野施策	10 1006	豊かな自然と共生する社会の実現 地球環境に優しい社会づくり	SDGsゴール13 SDGsターゲット13-3
1 事業の概要 産業・業務部門の温室効果ガス排出量は県全体の約5割を占めている。そこで地球温暖化対策計画制度を導入し、計画書の審査や指導を通じて、CO2排出量の着実な削減を進めている。 また、エネルギーを多量に使用する事業所等に対して本県独自の目標設定型排出量取引制度を導入し、CO2排出量の効果的な削減に努めている。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 目標設定型排出量取引制度 6,201千円→4,732千円 (イ) 優良大規模事業所認定審査 (ロ) 東京都と連携した検証主任者講習会の開催（12回開催） (ハ) 排出量削減対策セミナー、排出量取引セミナーの開催（2回） (ニ) 目標設定型排出量取引制度小委員会の開催（3回） (2) 事業計画 ア 目標設定型排出量取引制度 排出量取引制度を運営し、対象者に算定・検証・取引等の指導を行う。 (イ) 先進的な削減対策を実施している事業所を申請に基づき優良大規模事業所に認定する。 高度な専門知識が必要なため、審査を業務委託し、さらに専門家の意見を聴取する。 先進的な事例を他事業所へ周知展開する。 (ロ) 排出量算定の信頼再確保のための第三者検証を行う検証主任者の講習・試験を実施する。 (ハ) CO2排出量の削減対策を紹介する削減セミナーや、取引のマッチング等を行う取引セミナーを開催する。 (ニ) 小委員会を開催し、第4削減計画期間以降の制度について検討を行う。 (3) 事業効果 ア 目標設定型排出量取引制度におけるCO2排出量の基準年度に対する削減率 35%（令和3年度） （県全体の排出量における本制度のカバー率：約2割） (4) 補正予算の概要 ア 申請件数が少なかったこと等による減 △1,376千円 イ 経費節減による減 △93千円							
ア 目標設定型排出量取引制度 △1,469千円										
2 事業主体及び負担区分 ア （県10/10）										
3 地方財政措置の状況 普通交付税（包括算定経費） （区分）企画費 （細目）環境保全対策費 （細節）環境保全対策費 （積算内容）地域の実情に応じた環境保全対策										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.6人＝53,200千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,469								△1,469	4,732
現計額	6,201								6,201	

事業内訳書

事業名	温暖化対策計画・排出量取引制度推進事業費		
単位事業名	目標設定型排出量取引制度	予算額	△ 1,469千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,469	—	
合計	△1,469	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△24	—	経費節減による減
需用費	△22	—	経費節減による消耗品費等の減
役務費	△47	—	経費節減による通信運搬費等の減
委託料	△1,376	—	業務委託が見込みを下回ったことによる減
合計	△1,469	—	